



平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月21日

上場取引所 東

上場会社名 日本オラクル株式会社

コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>

代表者 (役職名) 代表執行役 社長 最高経営責任者 (氏名) 遠藤 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 副社長 最高財務責任者 (氏名) 野坂 茂

TEL 03-6834-6666

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	74,319	11.6	20,902	15.0	20,948	15.1	12,874	19.9
24年5月期第2四半期	66,588	7.1	18,183	7.2	18,202	6.7	10,736	6.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	101.30	101.27
24年5月期第2四半期	84.48	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	112,481	63,784	55.9	494.52
24年5月期	111,493	60,438	53.4	468.20

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 62,848百万円 24年5月期 59,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	75.00	75.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	87.00	87.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,400	15.0	44,600	10.3	44,700	10.4	27,500	16.0	216.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期2Q	127,097,471 株	24年5月期	127,097,471 株
25年5月期2Q	5,435 株	24年5月期	5,085 株
25年5月期2Q	127,092,249 株	24年5月期2Q	127,092,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な上方および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

① 業績の概要

当第2四半期累計期間（自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日。以下、「当四半期」）の売上高は74,319百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は20,902百万円（前年同期比15.0%増）、経常利益は20,948百万円（前年同期比15.1%増）、四半期純利益は12,874百万円（前年同期比19.9%増）と、第2四半期累計期間としては売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高となりました。

当四半期における日本国内の経済環境は、一部に弱い動きが見られるものの、復興需要等を背景とした企業活動の持ち直しに伴うIT投資も徐々に増加してきております。平成24年10月には、オラクル・コーポレーション主催のITカンファレンス「Oracle OpenWorld」が米国サンフランシスコで開催され、様々な新製品やサービスが発表されました。当社は、これら新製品やサービスを順次日本国内のお客様に提供すべく準備を進めてまいりました。

② 報告セグメント別の状況

[ソフトウェア・ライセンス]

売上高は21,187百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用されるソフトウェアを、新規ライセンスの販売やクラウド・コンピューティング環境によるサービス利用型として提供しており、データベース管理ソフトウェアおよび高い信頼性と拡張性のあるIT基盤を実現する各種ミドルウェア製品を販売する「データベース&ミドルウェア」、ERP等の業務アプリケーションを販売する「アプリケーションズ」から構成されます。

データベース&ミドルウェアの売上高は18,354百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

データベース、ミドルウェアとも、お客様の事業活動を支えるIT基盤に必要な不可欠な製品として、クラウドやビッグデータの利活用環境の構築等、多くのお客様で採用が進みました。また、ソフトウェアとハードウェアをあらかじめ統合して提供する「Oracle Exadata」等のエンジニアド・システム製品群が好調に推移したことで、これら製品とともに利用されるライセンスの販売も増加いたしました。

平成24年11月には、C、C++、COBOLアプリケーション向け分散トランザクション処理基盤「Oracle Tuxedo」の最新版「Oracle Tuxedo 12c」、10月には高速分析専用マシン「Oracle Exalytics In-Memory Machine」対応ソフトウェアの最新版、9月には総合的リアルタイム・データ統合ソリューションの最新版「Oracle GoldenGate 11g Release 2」、ビッグデータ分析の新製品「Oracle Endeca Information Discovery」、7月には「Oracle Exalogic Elastic Cloud Software2.0」、 「Oracle Business Process Management Standard Edition」、6月には「Oracle Application Testing Suite 12.1」を提供開始いたしました。

アプリケーションズの売上高は2,833百万円（前年同期比57.0%増）となりました。

製品やサービスの購入や利用の過程において顧客が経験する価値である「カスタマー・エクスペリエンス」を向上させる製品群をはじめとしたCRM製品群や、財務会計等のERP製品群、人材管理ソリューションのHCM製品群等が好調に推移いたしました。平成24年10月には、研究室の成果を臨床に応用する「トランスレーショナル医療」を支援する製品群「Oracle Health Sciences Translational Research Center」、企業のeコマースサイト構築を支援する製品群の最新版「Oracle ATG Web Commerce 10.1」と「Oracle Endeca Commerce 3.1」を提供開始いたしました。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は33,889百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

当セグメントは、ソフトウェア・ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

お客様の導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、サポートの価値訴求の推進を継続して実施すると共に、パートナーとの協業を推進し、新規に販売された製品に対するサポートの装着率や既存サポート契約の更新率の維持向上を目指した施策を進めてまいりました。

[ハードウェア・システムズ]

売上高は11,082百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システムのハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は6,098百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

Oracle Exadata等のエンジニアド・システムの販売が好調に推移いたしました。平成24年11月には、Javaベースのアプリケーションをはじめとする多数のアプリケーションを集約し、クラウド環境で超高速に実行できるように設計されたエンジニアド・システム「Oracle Exalogic Elastic Cloud」の最新版「Oracle Exalogic Elastic Cloud X3-2」、10月には、データベースマシン「Oracle Exadata」の最新版「Oracle Exadata X3-2 Database In-Memory Machine」、8月には「StorageTek SL150 Modular Tape Library」、6月には「Sun ZFS Backup Appliance」の提供を開始いたしました。また、販売パートナー様との協業も積極的に推進し、Oracle Exadataの一次保守サービスおよびSI支援サービスが、本年9月に富士通株式会社様より、同8月に日本電気株式会社様より提供開始されました。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は4,984百万円（前年同期比5.8%増）となりました。ハードウェア製品に対するサポート装着率の向上や既存のお客様からの更新契約の確保により、堅調に推移いたしました。また、Oracle Database Applianceの包括的保守サービスが、平成24年11月に伊藤忠テクノソリューションズ株式会社様より提供開始されました。

[サービス]

売上高は8,160百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

当セグメントは、予防保守サービスやマネージド・クラウド型サービス等の高付加価値サービスを提供する「クラウドサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」から構成されております。

クラウドサービスでは、予防保守サービス「アドバンスト・カスタマー・サポート・サービス」がOracle Exadata向けサービスを中心に好調に推移いたしました。また、コンサルティングサービスでは、データベース&ミドルウェアおよびアプリケーションのコンサルティングサービスが堅調に推移いたしました。

以上により、クラウドサービスの売上高は2,155百万円（前年同期比9.0%増）、エデュケーションサービスの売上高は828百万円（前年同期比1.7%減）、コンサルティングサービスの売上高は 5,176百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

＜報告セグメント別売上高の状況＞

	平成24年5月期 第2四半期		平成25年5月期 第2四半期			平成24年5月期	
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	対前期比 %	金額 百万円	構成比 %
データベース&ミドルウェア	15,325	23.0	18,354	24.7	19.8	37,551	26.3
アプリケーションズ	1,804	2.7	2,833	3.8	57.0	4,900	3.4
ソフトウェア・ライセンス	17,130	25.7	21,187	28.5	23.7	42,452	29.7
アップデート&プロダクト・サポート	32,287	48.5	33,889	45.6	5.0	64,986	45.5
ソフトウェア関連	49,418	74.2	55,077	74.1	11.5	107,439	75.2
ハードウェア・システムズ・プロダクト	5,171	7.8	6,098	8.2	17.9	11,053	7.7
ハードウェア・システムズ・サポート	4,709	7.1	4,984	6.7	5.8	9,430	6.6
ハードウェア・システムズ	9,880	14.8	11,082	14.9	12.2	20,484	14.3
クラウドサービス	1,978	3.0	2,155	2.9	9.0	4,073	2.8
エデュケーションサービス	842	1.3	828	1.1	△1.7	1,562	1.1
コンサルティングサービス	4,468	6.7	5,176	7.0	15.8	9,359	6.5
サービス	7,289	10.9	8,160	11.0	12.0	14,995	10.5
合計	66,588	100.0	74,319	100.0	11.6	142,919	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

(2) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月26日に発表いたしました平成25年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,488	51,117
受取手形及び売掛金	19,306	14,452
有価証券	2,005	2,006
商品及び製品	0	0
その他	2,577	2,471
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	68,375	70,044
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	14,215	13,766
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,067	946
有形固定資産合計	41,340	40,770
無形固定資産	20	13
投資その他の資産		
その他	1,766	1,657
貸倒引当金	△9	△3
投資その他の資産合計	1,757	1,653
固定資産合計	43,117	42,437
資産合計	111,493	112,481
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,470	6,641
未払金	3,384	3,053
未払法人税等	8,904	8,155
前受金	25,795	27,978
賞与引当金	1,825	1,273
その他の引当金	182	183
その他	1,401	1,319
流動負債合計	50,963	48,606
固定負債		
その他	91	91
固定負債合計	91	91
負債合計	51,054	48,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,301	22,301
資本剰余金	5,652	5,652
利益剰余金	31,595	34,937
自己株式	△23	△24
株主資本合計	59,526	62,867
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22	△18
評価・換算差額等合計	△22	△18
新株予約権	934	935
純資産合計	60,438	63,784
負債純資産合計	111,493	112,481

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	66,588	74,319
売上原価	33,289	38,053
売上総利益	33,298	36,266
販売費及び一般管理費	15,114	15,363
営業利益	18,183	20,902
営業外収益		
受取利息	27	36
有価証券利息	1	0
その他	45	18
営業外収益合計	74	54
営業外費用		
その他	56	8
営業外費用合計	56	8
経常利益	18,202	20,948
特別利益		
新株予約権戻入益	15	69
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	22	69
特別損失		
事業構造改善費用	—	182
特別損失合計	—	182
税引前四半期純利益	18,224	20,836
法人税等	7,488	7,961
四半期純利益	10,736	12,874

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	18,224	20,836
減価償却費	788	663
株式報酬費用	88	70
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△862	△551
その他の引当金の増減額(△は減少)	51	0
受取利息及び受取配当金	△35	△40
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	—
固定資産除売却損益(△は益)	6	7
売上債権の増減額(△は増加)	8,768	4,854
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	0
その他の流動資産の増減額(△は増加)	319	117
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,619	△2,828
未払金の増減額(△は減少)	△2,058	△312
前受金の増減額(△は減少)	1,513	2,182
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△426	△66
その他	13	△33
小計	24,762	24,895
利息及び配当金の受取額	41	29
法人税等の支払額	△7,833	△8,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,970	16,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123	△106
有形固定資産の売却による収入	16	—
無形固定資産の取得による支出	—	△0
投資有価証券の売却による収入	7	52
貸付金の回収による収入	37,986	—
定期預金の預入による支出	△6,000	△39,000
定期預金の払戻による収入	10,000	23,000
差入保証金の差入による支出	△4	△9
差入保証金の回収による収入	1	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,884	△16,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△49,476	△9,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,477	△9,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,377	△9,370
現金及び現金同等物の期首残高	14,834	23,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,212	14,123

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソフトウェア・ライセンス	アップデート&プロダクト・サポート	ハードウェア・システムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,130	32,287	9,880	7,289	66,588	—	66,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,130	32,287	9,880	7,289	66,588	—	66,588
セグメント利益	1,522	17,086	584	1,498	20,691	△2,507	18,183

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,507百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソフトウェア・ライセンス	アップデート&プロダクト・サポート	ハードウェア・システムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,187	33,889	11,082	8,160	74,319	—	74,319
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,187	33,889	11,082	8,160	74,319	—	74,319
セグメント利益	3,062	17,931	583	1,748	23,326	△2,423	20,902

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,423百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。